

2009年度 決算短信添付資料（決算説明会資料）

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



2010年度の取り組み-「JT-11」の達成に向けて

代表取締役社長
木村 宏



2009年度 全社業績: Executive Summary

- 国内たばこ事業: 数量減がやや加速もEBITDAは当初見込を上回る
- 海外たばこ事業: 為替中立ベース*のEBITDAは単価上昇効果に加えシェア伸長により14.9%成長
 - 財務報告ベースの調整後税売上高とEBITDAは、不利な為替影響を事業モメンタムで相殺できず減収・減益
- 医薬事業: 前年度は一時金収入を計上していたことにより減収・減益
- 食品事業: 注力事業分野**のEBITDAは対前年微増。ただし、水産事業における一時的な損失等により全体では減益

「JT-11」初年度の全社業績は当初の見込を上回る結果となり順調なスタート

(単位:億円)	2008年度	2009年度	増減率	2009年度 当初見込
調整後税売上高***	22,431	19,809	-11.7%	19,850
EBITDA	6,462	5,267	-18.5%	4,750
当期純利益	1,234	1,384	+12.2%	1,000
<参考:のれん償却前>				
当期純利益	2,289	2,358	+3.0%	1,970

*前年度の為替レートを適用した場合

**注力事業分野:飲料事業、加工食品事業、調味料事業の合計

***国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除

3



2010年度の取り組み : Executive Summary

- 2010年度全社業績は国内たばこ事業における大幅増税により減収・減益
- 国内たばこ事業: 定価改定、価格に相応しい品質・サービスの向上
- 海外たばこ事業: シェア伸長および単価上昇効果による利益成長
- 医薬事業: 引き続き世界レベルの新薬創出を目指す
- 食品事業: 注力事業分野へ戦力を集中し、将来の成長に向けて事業基盤を更に強化

厳しい事業環境の中でこそ、将来の成長機会にしっかりと目を向け、一層の事業基盤強化を進めていくことにより、長期ビジョンの実現、「JT-11」達成を目指す

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減率
調整後税売上高*	19,809	19,730	-0.4%
EBITDA	5,267	5,130	-2.6%
当期純利益	1,384	1,330	-3.9%
<参考:のれん償却前>			
当期純利益	2,358	2,260	-4.2%

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除

4



国内たばこ事業：2010年度 定価改定

背景

- 今回の増税(70円/20本)は、過去に例の無い大幅なもの
- 通年ベースで25%を超える大幅な総需要の減少が見込まれる中、
 - 1)お客様に満足いただける製品品質やサービスの維持
 - 2)愛煙家の皆様やたばこを吸われない方々に配慮した喫煙場所の確保
 - 3)原材料のコスト上昇に対応
- また、小売マージン、消費税の増加も考慮する必要がある

- 増税分を上回る価格改定を申請
- 今まで以上にご満足いただける品質とサービスの向上

国内たばこ事業：代表的なブランドの価格-申請ベース

~2010年9月
(単位:円/箱)

350	Cabin Prestige Peace Infinity
320	Pianissimo Camel Salem
	Mild Seven Cabin Seven Stars Peace Hope
290	Winston Caster Hi-Lite

2010年10月~
(単位:円/箱)

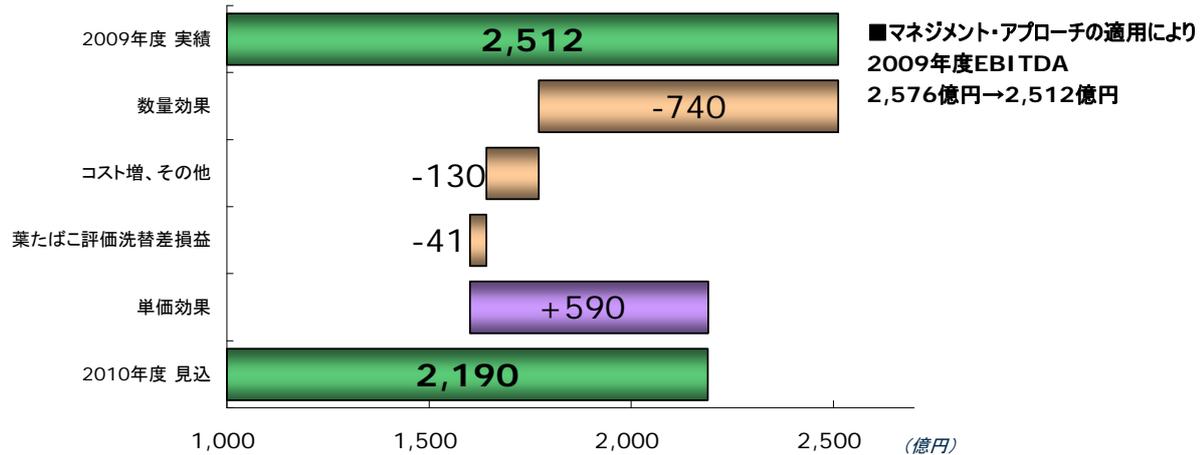
470	Cabin Prestige Peace Infinity
440	Pianissimo Camel Salem Seven Stars Peace Hope
	Mild Seven Cabin Caster Hi-Lite
400	Winston



- 各ブランド・銘柄の品質を維持し、お客様のご支持・ご期待に応えるため、銘柄ごとの価格上昇幅は異なる
- 価格に相応しい品質の維持

国内たばこ事業：2010年度 価格改定-今後の利益水準

【EBITDA* Roadmap: 09年度 ⇒ 10年度】



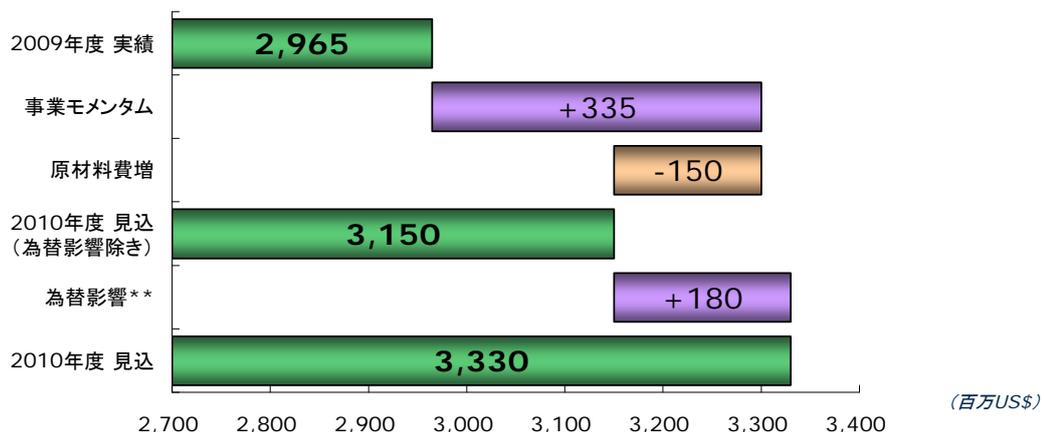
- 2010年度は、大幅な販売数量減に加え、仮需の影響、価格に相応しい品質・サービス向上に向けた対面売場強化・研究開発費の増加、定価改定に伴う一時的なコストの発生等から、EBITDAは2,190億円と12.8%の減益予想
- 「JT-11」の目標である、「2009年度のEBITDA水準を2011年度で維持」の達成を目指すことについて変更なし

*JT1からのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後



海外たばこ事業：シェア伸長および単価上昇効果による利益成長

【US\$ベース EBITDA* Roadmap: 09年度 ⇒ 10年度】



- 単価上昇効果とシェア伸長が2010年度のEBITDA成長を牽引
- 質の高いトップライン成長を確かなものとするブランドへの投資
- 財務報告ベースのEBITDAは、事業モメンタムと為替の好影響により12.3%の二桁成長を予想
- 為替中立ベースのEBITDAは6.2%成長の見込

*JTへのロイヤリティ支払い前

** USドルと各現地通貨との間の為替影響



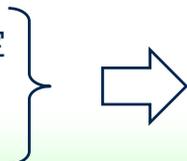
海外たばこ事業：2010年度以降の利益水準

2010年度 - 景気前提：

- ・ 失業率はGDPの回復に遅れ、徐々に低下
- ・ 事業環境は、地域によって異なるも、早く2010年後半ないし2011年前半から好転

2010年下期以降の事業モメンタム：

- ・ 総需要減少幅の緩やかな縮小を想定
- ・ シェア伸長
- ・ 値上げ



力強い質の高いトップライン成長
による利益成長

「3カ年で為替中立ベース年平均10%以上の成長」、
という「JT-11」の目標に変更なし

医薬事業：「JT-11」初年度はパイプラインに一定の進展、 引き続き世界レベルの新薬創出を目指す

臨床開発品目 (2010年4月28日現在)

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTT-705 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2	ロシュ社へ導出 (Phase 3)
JTT-130 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2	
JTK-303 (経口)	HIV感染症	国内: Phase1	ギリアド・サイエンス社へ導出 (Phase 3)
JTT-302 (経口)	脂質異常症	海外: Phase2	
JTT-305 (経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2	米国メルク社へ導出
JTS-653 (経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内: Phase1	
JTT-654 (経口)	2型糖尿病	国内: Phase1 海外: Phase2	
JTK-656 (経口)	HIV感染症	海外: Phase1	
JTT-751 (経口)	高リン血症	国内: Phase2	ゲリックス・バイオファーマシューティカルス社から導入
JTK-853 (経口)	C型肝炎	海外: Phase1	

《2009年度の進展》

- ・ JTT-654: 海外でphase2に移行
- ・ JTK-853: 海外で臨床試験開始
- ・ MEK阻害剤: 導出先でphase2に移行

※前回(2010年2月9日)公表時からパイプラインの変更なし

- 後期開発を含む臨床開発力の強化と創薬研究力の更なる向上
 - ・ 開発段階の進展に伴い高度化していく開発を推進するための臨床開発力を強化
 - ・ R&Dパイプラインの強化のために創薬研究力を更に向上
- 鳥居薬品得意領域の更なる強化・育成

食品事業：将来の成長にむけた事業基盤の更なる強化

2009年度までの事業環境

- 景気後退に伴う消費低迷
- デフレ環境下における低価格化への圧力加速

《2010年度以降の取り組み》

飲料事業

- 今年度10周年を迎える基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
- 自販機台数の着実な拡大
- コスト削減努力は継続



加工食品事業・調味料事業

- ステープル(主食)*、調味料(酵母エキス等)を事業の柱とした高付加価値型事業への転換
- 引き続き効率的な事業体制を推進



最高水準の食の安全管理の推進

- 「リスク低減に向けた取り組み」、「お客様への対応の強化」、「組織・体制の強化」

*ステープル(主食): 冷凍麺、米飯(冷凍米飯・無菌包装米飯)、冷凍パン

11



安定的・継続的な配当向上に努める

【のれん償却影響除き配当性向と1株当たり配当金の推移】



- 2009年度の期末配当金は、普通配当2,800円に記念配当200円を加え3,000円
- 年間配当金は中間配当2,800円と合わせ5,800円
- 配当水準は着実に向上、2009年度のものれん償却影響を除いた配当性向は23.6%

12



2009年度 実績

財務責任者
宮崎 秀樹



2009年度 全社実績 : Executive Summary

- 全社実績は減収・減益だが、当初見込を上回り「JT-11」初年度として順調なスタート
- 国内たばこ事業EBITDAは、数量減がやや加速したものの、当初見込を上回る
- 海外たばこ事業EBITDAは、単価上昇効果・シェアの伸長がドライバーとなり、為替中立ベース*で14.9%成長
 - 財務報告ベースのドルベースEBITDAは、為替のマイナス影響により14.1%減益

*前年度の為替レートを使用了場合

全社業績：2009年度 実績

(単位:億円)	2008年度	2009年度	増減率		2008年度	2009年度	増減率
調整後 税売上高*	22,431	19,809	-11.7%				
EBITDA	6,462	5,267	-18.5%	<参考:のれん償却前>			
営業利益	3,638	2,965	-18.5%	営業利益**	4,693	3,939	-16.1%
経常利益	3,075	2,553	-17.0%	経常利益**	4,130	3,528	-14.6%
当期純利益	1,234	1,384	+12.2%	当期純利益**	2,289	2,358	+3.0%

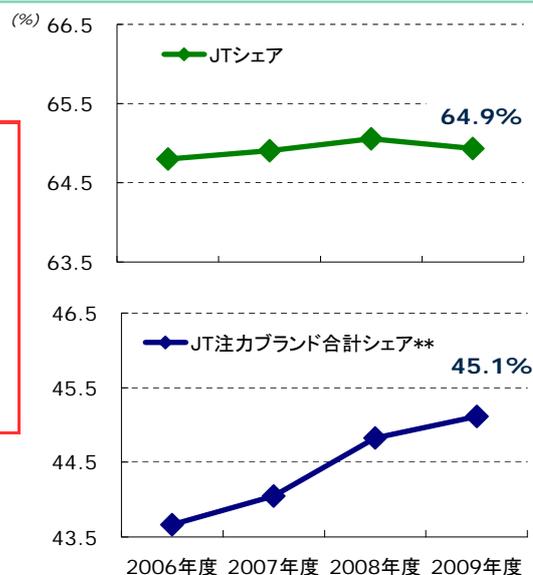
- 国内たばこ事業における販売数量減、海外たばこ事業における為替影響により調整後税売上高11.7%減、EBITDA18.5%減
- 経常利益は、営業外損益の改善により減少幅が縮小
- 当期純利益は、英国競争法制裁金関連負債取崩益等により12.2%の増益

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除 15
**のれん償却影響除き



国内たばこ事業：2009年度 実績

(単位:億本、億円)	2008年度	2009年度	増減率
総販売数量	1,599	1,518	-5.0%
調整後税売上高*	6,488	6,159	-5.1%
EBITDA	2,722	2,576	-5.4%
営業利益	1,882	2,033	+8.0%



- 数量減がやや加速したことにより、減収・減益
- JTシェアは前年度と同水準の64.9%
- 注カブランドシェアは、セブンスター・ピアニッシモのブランド施策が寄与し、45.1%と堅調に推移

*輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除 16
**マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモ(10年1月にピアニッシモに統合したアイシーン、ルーシア込みで適及)



海外たばこ事業：2009年度 実績

(単位: 億円, 百万US\$)	2008年度	2009年度	増減率	【主要市場 シェア推移(12ヶ月移動平均)】	
総販売数量*	4,459	4,349	-2.5%	2008年	2009年
GFB販売数量	2,455	2,434	-0.9%	Italy	17.1%
調整後税抜売上高**	10,445	9,682	-7.3%	France	14.2%
調整後千本当税抜売上高*** (US\$)	24.0	22.5	-6.5%	Spain	20.5%
\$ベースEBITDA****	3,452	2,965	-14.1%	UK	39.1%
円ベースEBITDA***** (億円)	3,379	2,498	-26.1%	Russia	35.7%
【為替中立ベース】				Turkey	17.0%
調整後税抜売上高**	10,445	11,192	+7.2%	Taiwan	38.7%
調整後千本当税抜売上高*** (US\$)	24.0	26.0	+8.0%		
\$ベースEBITDA****	3,452	3,967	+14.9%		

出典: AC Nielsen, Core EPOS 及び JTI 内部データ

- 総販売数量は、トルコ、UK、ロシア、西欧主要国等において順調に成長したものの、主にイラン、ウクライナ、フィリピン、台湾、ルーマニア、スペイン等における数量減により2.5%減少
- ほぼ全ての主要市場でシェアは前年比較で増加
- 単価上昇効果・欧州での数量成長により、為替中立ベースでは増収・増益
- 財務報告ベースでは、為替のマイナス影響により減収・減益

*Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
 **物流事業/Private Brand/製造委託/その他を控除
 ***Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないUV販売数量を控除
 ****JTIへのロイヤリティ支払い前 *****JTIへのロイヤリティ支払い後



医薬事業/食品事業：2009年度 実績

医薬事業

(単位: 億円)	2008年度	2009年度	増減
売上高	567	440	-126
EBITDA	48	△96	-145
営業利益	10	△135	-146

食品事業

(単位: 億円)	2008年度	2009年度	増減
売上高	4,359	3,946	-413
EBITDA	170	144	-25
営業利益	△114	△136	-22

- 医薬事業: 鳥居薬品は増収・増益も、前年同期に一時金収入があった事により減収・減益
- 食品事業: チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外とした影響等により減収
EBITDAは、注力事業分野では原料価格の低下やコスト削減等により対前年微増
ただし、水産事業における一時的な損失計上等の影響により全体では減益



2010年度 海外たばこ事業 1-3月期速報値



海外たばこ事業 : Executive Summary-1-3月期速報値

- 調整後税抜売上高は、単価上昇効果および為替の好影響により10.4%成長
- 為替中立ベース*の調整後税抜売上高は1.8%の増収
- ほぼ全ての主要市場でシェアは前年比較で増加
- 1-3月期の総販売数量およびGFB販売数量は、それぞれ6.8%、4.4%の減少。これは、各国での総需要減少に加え、イランでの不安定な事業環境に起因

*前年度の為替レートを使用了した場合

海外たばこ事業：2010年度 1-3月期速報値

	2009 1-3月期	2010 1-3月期	増減率 <速報値 1-3月>
(単位: 億円, 百万US\$)			
総販売数量*	1,009	941	-6.8%
GFB販売数量	571	546	-4.4%
調整後税抜売上高**	2,148	2,372	+10.4%
調整後 千本当税抜売上高*** (US\$)	21.5	25.5	+18.6%
【為替中立ベース】			
調整後税抜売上高**	2,148	2,185	+1.8%
調整後 千本当税抜売上高*** (US\$)	21.5	23.5	+9.2%

- 財務報告ベース、為替中立ベースの調整後税抜売上高は、それぞれ10.4%、1.8%成長
- 総販売数量およびGFB販売数量は、それぞれ6.8%、4.4%減少
 - 高水準の失業率と大幅な増税による各国での総需要減少
 - 2009年度下期以降のイランにおける不安定な事業環境

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

***Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

21



海外たばこ事業：主要市場におけるシェア

	2009年 3月*	2010年 3月*
Italy	17.4%	18.7%
France	14.3%	15.1%
Spain	20.6%	20.5%
UK	39.3%	40.4%
Russia	36.1%	36.8%
Turkey	17.5%	19.5%
Taiwan	39.2%	37.4%

<速報値 1-3月>

出典: AC Nielsen, Core EPOS及びJT内部データ

- ほぼ全ての主要市場でシェアは前年比較で増加
- マーケットリーダーである台湾では、増税後の積極的な価格戦略により一時的にシェア減少

*12ヶ月移動平均

22



海外たばこ事業：地域別 販売動向

【2010 1-3月期 販売数量(対前年 増減率)】

<速報値 1-3月>

	総販売数量*	GFB販売数量
Total	-6.8%	-4.4%
South & West Europe	-9.2%	-8.9%
North & Central Europe	+6.9%	+16.2%
CIS+	-9.7%	-5.3%
Rest of the World	-5.9%	-4.5%



- **S&WE**: スペイン、イタリアでの前年の在庫調整および総需要減少を主因に販売数量減少。これら2カ国を除けば、フランスにおけるGFBの成長モメンタムにより、数量成長を達成
- **N&CE**: UK (Sterling)、ポーランド(LD)での力強い数量成長が全体を牽引
- **CIS+**: 景気後退および増税に伴う値上げにより、ロシア、ルーマニアおよびウクライナで大幅に総需要減少
- **RoW**: カナダおよびフィリピンでの成長がイランにおける不安定な事業環境の影響により相殺

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

23

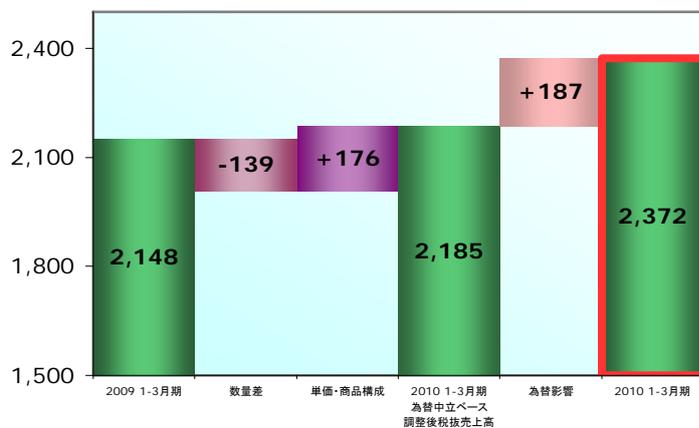


単価上昇効果の貢献

<速報値 1-3月>

【調整後税抜売上高* Roadmap: 09年1-3月期⇒10年1-3月期】

(単位:百万US\$)



	増税	値上げ
Italy	-	-
France	-	-
Spain	-	1月
UK	1), 3月	1, 3月
Russia	1月	1月
Turkey	- 2)	1月
Taiwan	-	-

1) VAT課税率の引上げ
2) 09年12月増税

- 財務報告ベースの調整後税抜売上高は、単価上昇効果に加え、為替の好影響により10.4%成長
- 為替中立ベースの調整後税抜売上高1.8%成長

*物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

24



2010年度 業績予想



2010年度 業績予想 : Executive Summary

- 海外たばこ事業の増益を国内たばこ事業の大幅減益が上回り、EBITDAは減益
- 国内たばこ事業
 - 大幅な販売数量減により、EBITDAは2,190億円と12.8%の減益予想
- 海外たばこ事業
 - ドルベースの調整後税抜売上高とEBITDAは、成長ドライバーである単価上昇効果、シェア伸長に加え、為替の好影響を見込み、それぞれ、8.2%、12.3%成長
- 医薬事業
 - 鳥居薬品を含む研究開発費の増加により減益予想
- 食品事業
 - 基幹ブランド「ルーツ」、ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)へ戦力集中することで増益予想
- マネジメント・アプローチの導入(参照:Back up data No.1)
 - 国内たばこ事業はロイヤリティー収入受取前に変更
 - 海外たばこ事業はロイヤリティー収入支払前に変更
 - 全社共通経費、資本的支出の各報告セグメントへの配分についても一部見直し

2010年度 全社業績予想

(単位: 億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減率
調整後税売上高*	19,809	19,730	-0.4%
EBITDA	5,267	5,130	-2.6%
営業利益	2,965	2,950	-0.5%
経常利益	2,553	2,760	+8.1%
当期純利益	1,384	1,330	-3.9%
ROE(%)	8.6	8.0	-0.6ppt
FCF	2,507	1,350	-46.2%
【のれん償却影響前】			
当期純利益**	2,358	2,260	-4.2%
EPS**	24,621円42銭	23,590円59銭	-4.2%
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	-200
配当性向(%)**	23.6%	23.7%	+0.1ppt

- 海外たばこ事業の増益を国内たばこ事業大幅減益が上回り、EBITDAは減益
- 営業外損益の改善をカナダ政府への和解金支払等による特別損益の悪化が相殺し、当期純利益は減益

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除 27
**のれん償却前



国内たばこ事業：2010年度 業績予想

(単位: 億本、億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減率
JT販売数量	1,518	1,275	-16.0%
調整後税売上高*	6,159	5,760	-6.5%
EBITDA**	2,512	2,190	-12.8%
営業利益	1,987	1,720	-13.5%

■新区分に基づく2009年度当初見込EBITDA: 2,410億円

- 販売数量は2010年10月の大幅増税により16%減の1,275億本を見込む
- 大幅な販売数量減に加え、仮需の影響等によりEBITDAは2,190億円と12.8%の減益予想

*輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除 28
**JTからのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後



海外たばこ事業：2010年度 業績予想

(単位:億本, 億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減	
総販売数量*	4,349	4,330	-0.4%	
GFB販売数量	2,434	2,500	+2.7%	【主要通貨の前提為替レート】
調整後税売上高**	9,067	9,440	+4.1%	
EBITDA***	2,776	3,000	+8.0%	
JPY/\$	93.65	90.00	4.1%高	
				2009年度 1-12月期 期中平均レート a
				2010年度 1-12月見込 期中平均レート b
				2010年度 1-3月期 期中平均レート c
				対09年度 増減率 b対a
(単位:百万US\$)				RUB/\$
調整後税売上高**	9,682	10,480	+8.2%	31.77
為替中立ベース 調整後税売上高**	9,682	10,060	+3.9%	29.50
EBITDA***	2,965	3,330	+12.3%	29.85
為替中立ベース EBITDA***	2,965	3,150	+6.2%	7.7%高
				GBP/\$
				0.65
				0.65
				0.62
				EUR/\$
				0.73
				0.68
				0.70
				6.7%高

- 単価上昇効果、シェア伸長に加え、為替が有利に推移する見込みであることから、調整後税売上高8.2%成長、EBITDA12.3%成長を見込む
- 為替中立ベースの調整後税売上高およびEBITDAは3.9%、6.2%成長の見込
- 円対US\$の想定レートについては若干の円高を見込み円ベースEBITDAは3,000億円の見込

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
 **物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
 ***JTへのロイヤリティ支払い前

29



医薬事業/食品事業：2010年度 業績予想

医薬事業

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減
売上高	440	445	+5
EBITDA	△ 96	△ 145	-48
営業利益	△ 135	△ 185	-50

食品事業

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 見込	増減
売上高	3,946	3,900	-46
EBITDA	144	185	+40
営業利益	△ 136	△ 90	+46

- 医薬事業：売上高は対前年同水準を見込むものの、鳥居薬品を含む研究開発費の増加により減益
- 食品事業：10周年を迎える基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
 ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中に加え、コスト削減等により増益の見込

30



ひとの
ときを、
想う。 JT

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

All the Detailed figures comes to <Back up data>

<Back up data No.1 > 2010年度見込:セグメント情報開示に関する新基準を適用

新基準

- 経営者が経営上の意思決定等に使用するセグメント情報の開示(マネージメント・アプローチ)

適用時期等

- 2009年度決算発表における2010年度見込数値の開示から適用(2010年度見込数値との比較可能性の観点から、2009年度末実績についても新基準に基づいた非監査数値を参考値として開示)
- 2010年度Q1の実績からのセグメント開示は新基準適用

メリット、影響等

- 経営者が経営上の意思決定等に使用する数値が開示されることとなり、投資家の皆様にとっても有用
- 全社連結業績数値に影響はなし

主なセグメント情報数値の変更

- 海外たばこ事業から国内たばこ事業へのロイヤリティ
- 全社共通経費、資本的支出の各報告セグメントへの配分についても一部見直し

国内たばこ事業および海外たばこ事業における09年度実績 旧区分→新区分(EBITDA Road Map)

	《国内たばこ事業》	《海外たばこ事業》
・ 旧区分①	2,576億円	2,498億円
・ ロイヤリティ収入/支払*②	283億円	△278億円
・ 共通経費③	219億円	—
・ 新区分④	2,512億円	2,776億円
④=① - ② + ③		

→医薬・食品事業への影響はなし

*会計期間の違いにより金額は異なる

<Back up data No.2 > 海外たばこ事業 2009年度 実績(JPYベース)

<JPY・開示ベース>

(単位:億円)	2008年度	2009年度	増減
税込売上高	31,183	26,336	-4,846 (-15.5%)
調整後税抜売上高*	10,808	9,067	-1,740 (-16.1%)
EBITDA**	3,379	2,498	-880 (-26.1%)
営業利益	1,747	1,091	-656 (-37.6%)
JPY/USD	103.48	93.65	-9.83 (10.5%高)

*物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

**JTへのロイヤリティ支払い後

35

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back up data No.3 > 海外たばこ事業 地域別 販売数量

<速報値 1-3月>

(単位:億本)

	2009 1-3月期	2010 1-3月期	増減率
<i>South & West Europe</i>			
総販売数量*	163	148	-9.2%
GFB販売数量	141	129	-8.9%
<i>North & Central Europe</i>			
総販売数量*	106	113	+6.9%
GFB販売数量	44	51	+16.2%
<i>CIS+</i>			
総販売数量*	454	410	-9.7%
GFB販売数量	219	207	-5.3%
<i>Rest of the World</i>			
総販売数量*	287	270	-5.9%
GFB販売数量	167	160	-4.5%

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

36

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back up data No.4 > 海外たばこ事業 GFB販売数量

<速報値 1-3月>

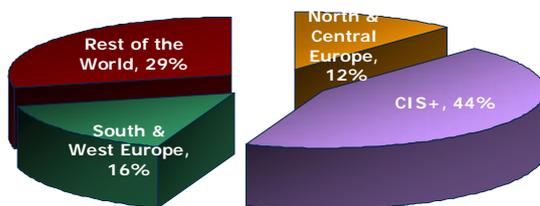
(単位:億本)	2009 1-3月期	2010 1-3月期	増減率
Winston	290	272	-6.5%
Camel	100	95	-4.7%
Mild Seven	48	44	-9.3%
B&H	27	25	-6.3%
Silk Cut	12	11	-6.8%
LD	68	74	+9.2%
Sobranie	3	3	+16.2%
Glamour	23	22	-4.8%



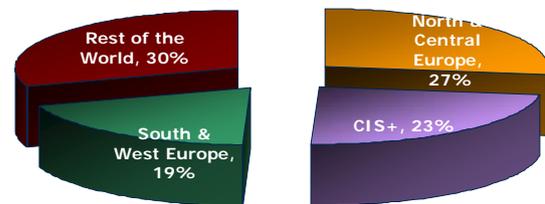
<Back up data No.5> 海外たばこ事業 地域別構成比

<速報値 1-3月>

販売数量*



調整後税抜売上高**



•RoWiにHQ調整後税抜売上高含む

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

【参考資料】

2009年度 実績 および 2010年度 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

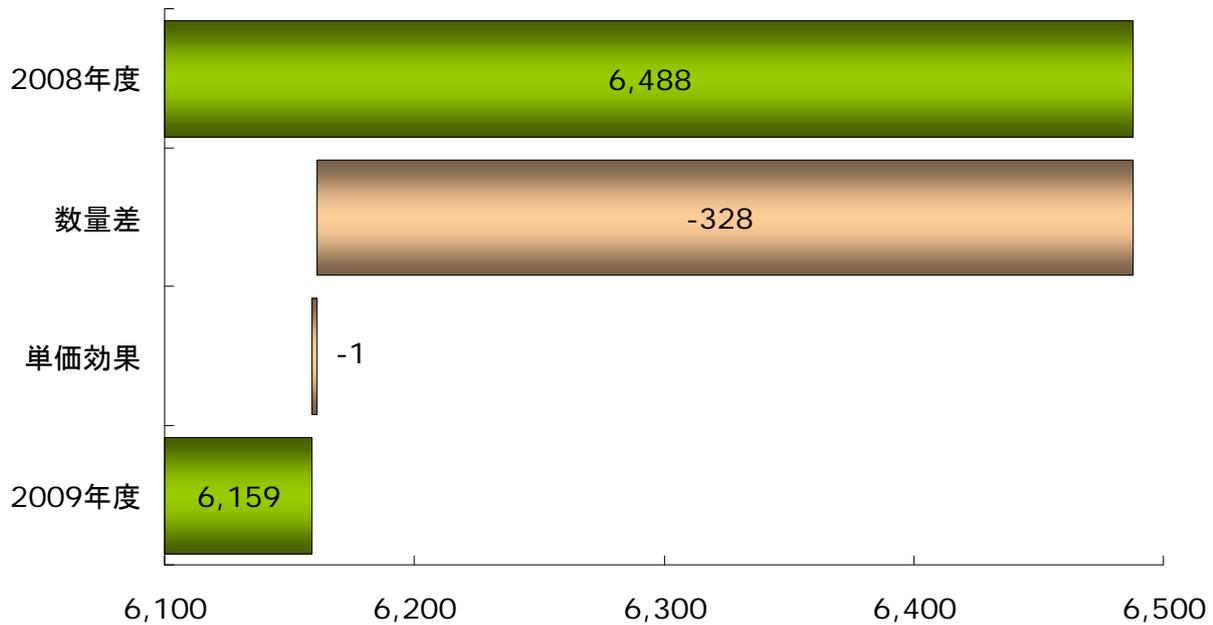
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2009年度 実績

□ 国内たばこ事業 調整後税抜売上高*



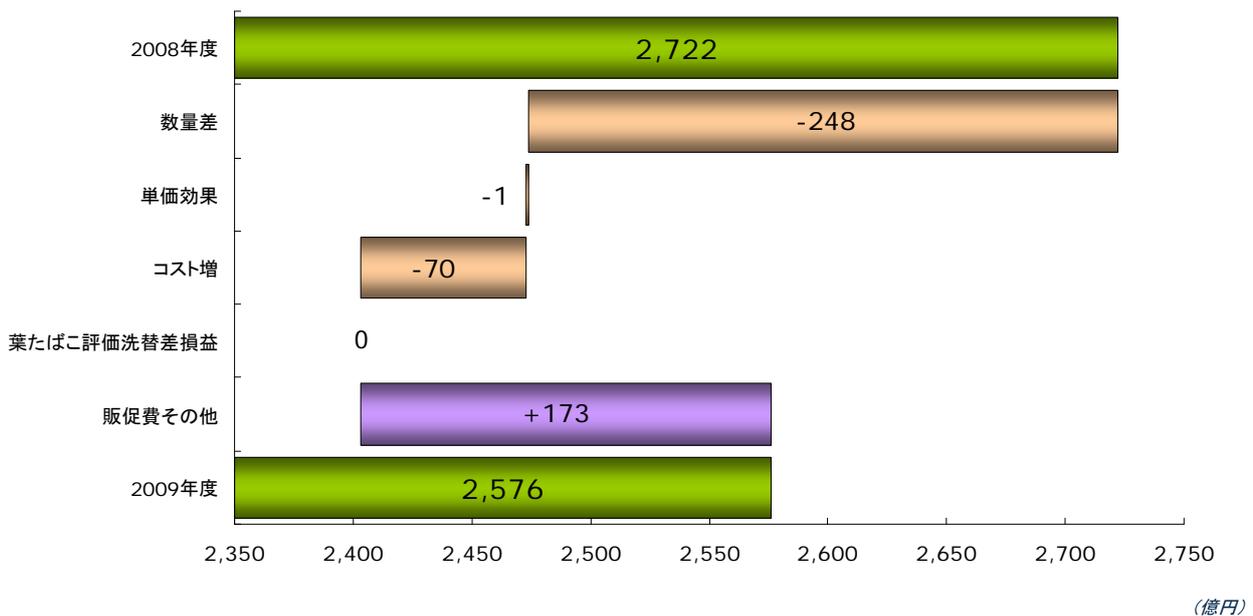
* 輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

3



2009年度 実績

□ 国内たばこ事業 EBITDA*



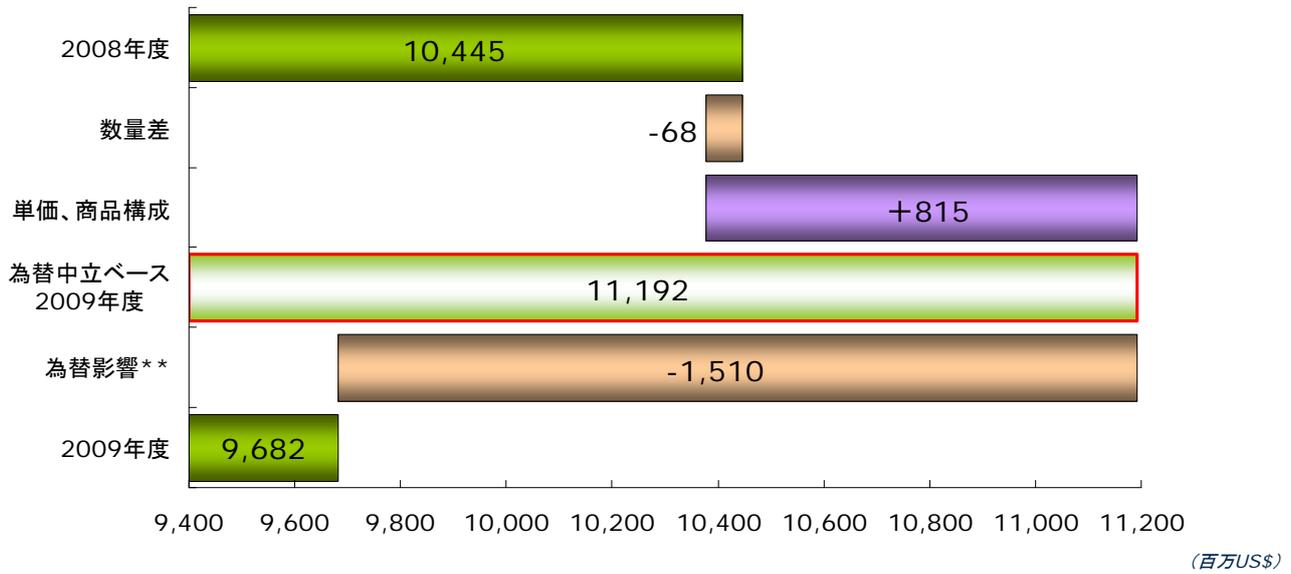
* JTIからのロイヤリティ受取後、本社費用の配賦方法変更前

4



2009年度 実績

□ 海外たばこ事業 調整後税売上高*



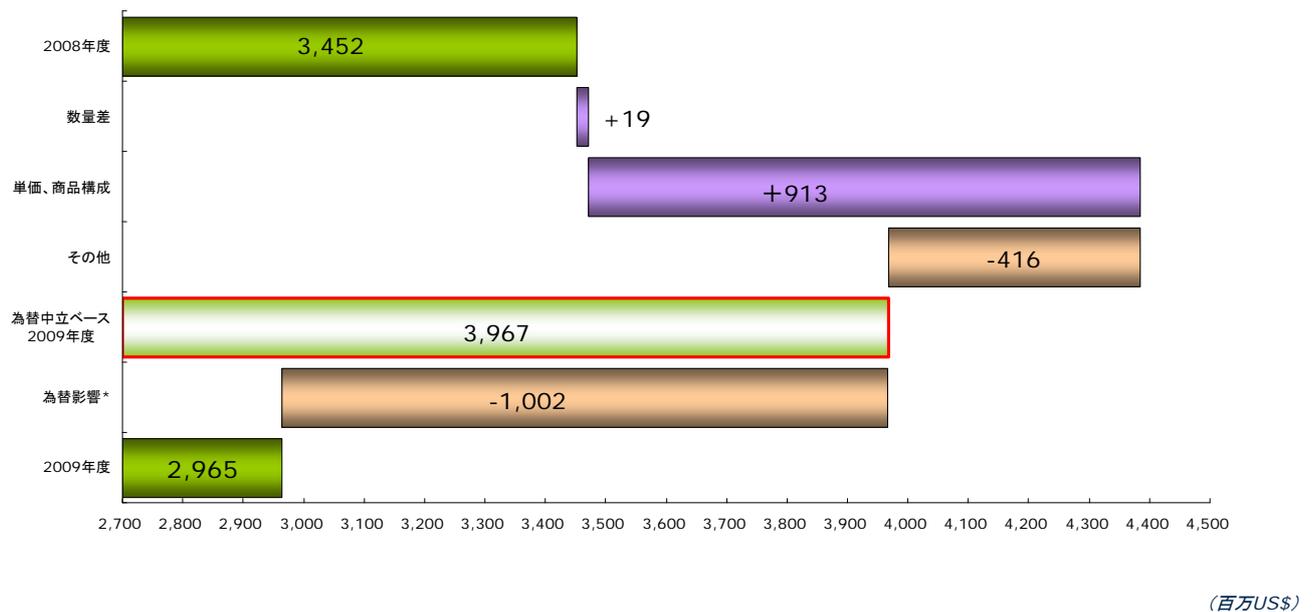
* 物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
** USドルと各現地通貨との間の為替影響

5



2009年度 実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティ支払前)



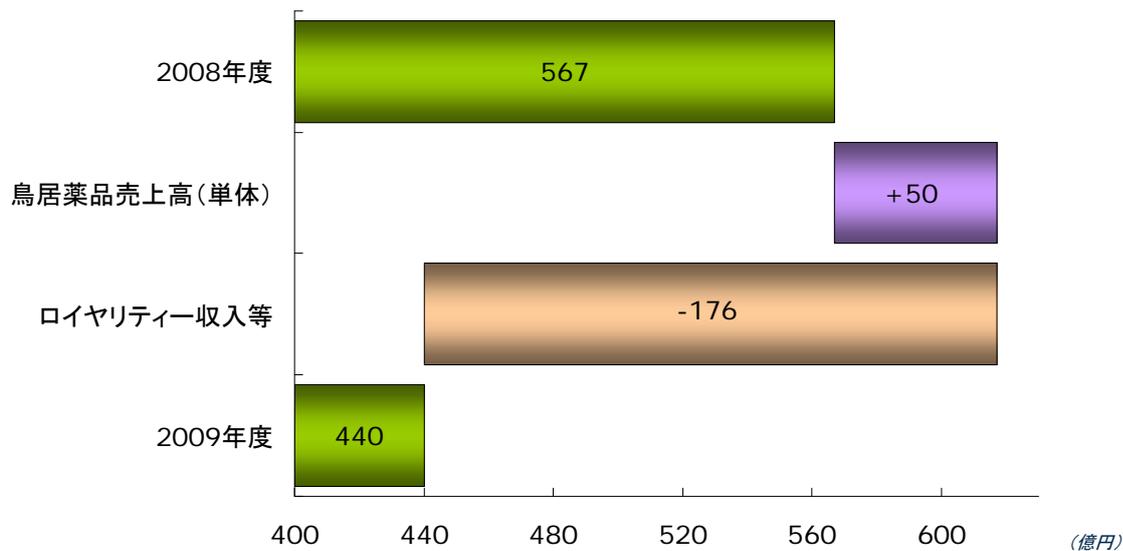
* USドルと各現地通貨との間の為替影響

6



2009年度 実績

□ 医薬事業 売上高

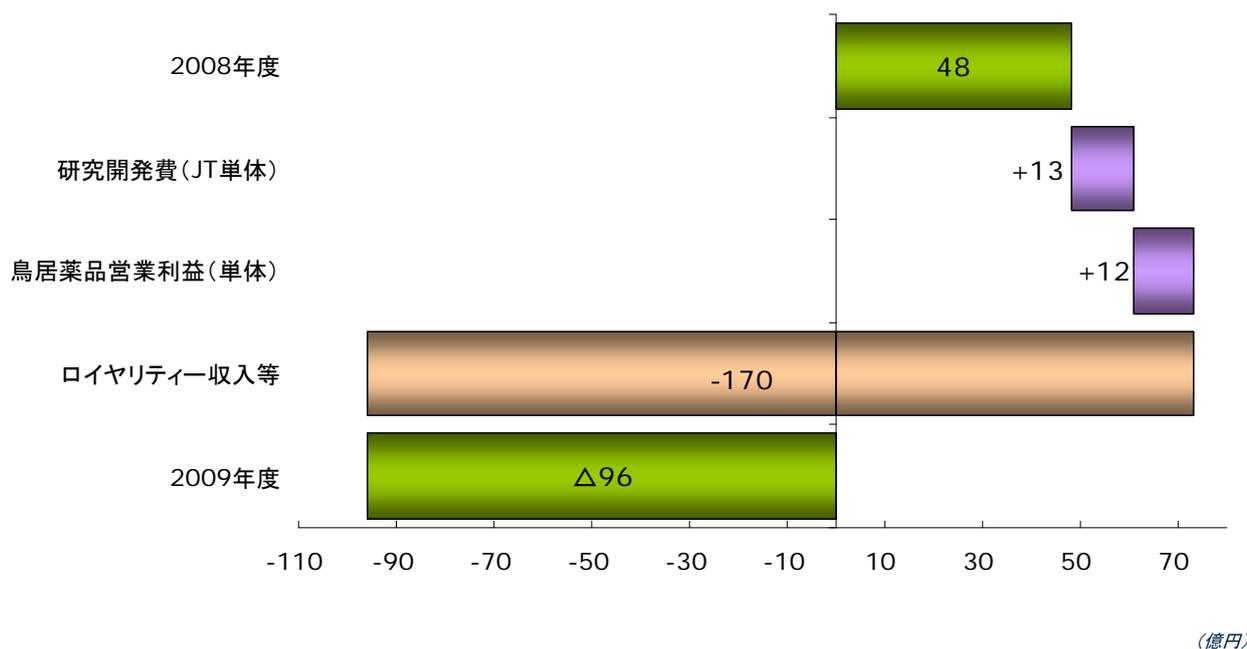


7



2009年度 実績

□ 医薬事業 EBITDA

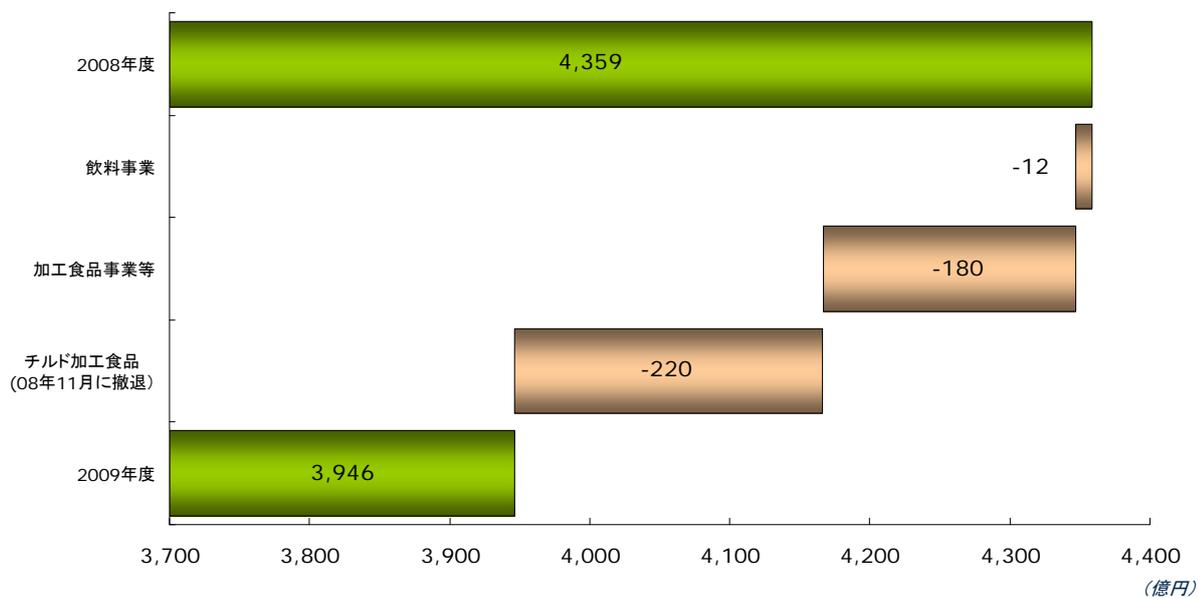


8



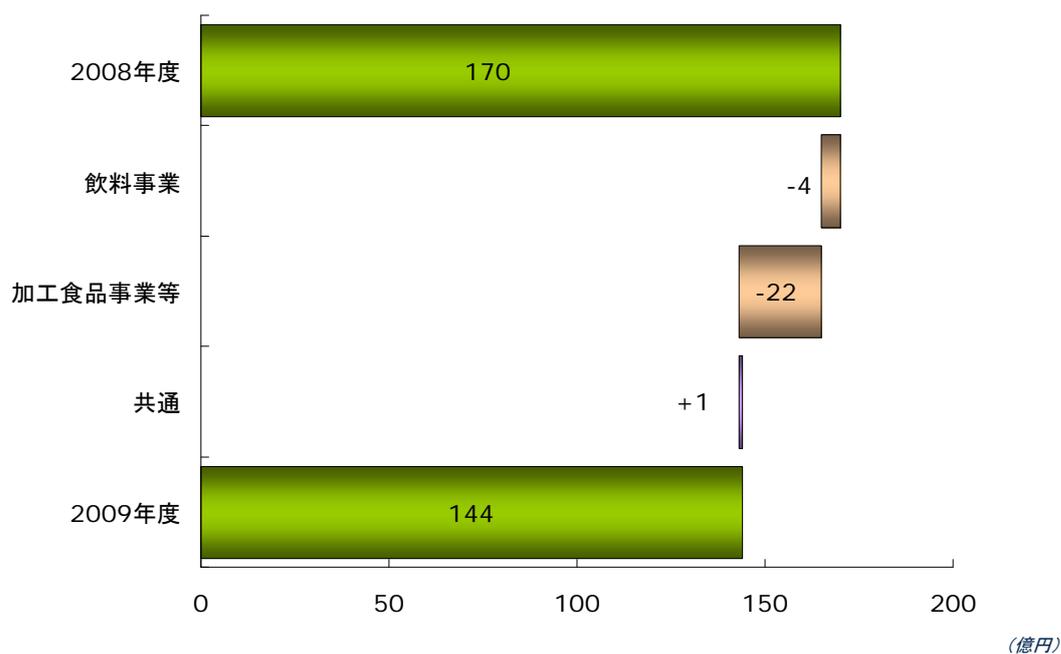
2009年度 実績

□ 食品事業 売上高



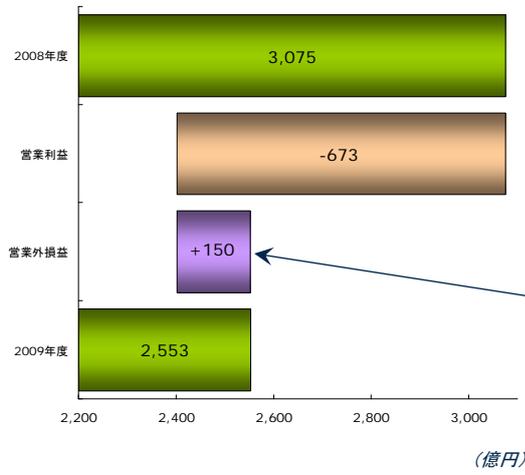
2009年度 実績

□ 食品事業 EBITDA



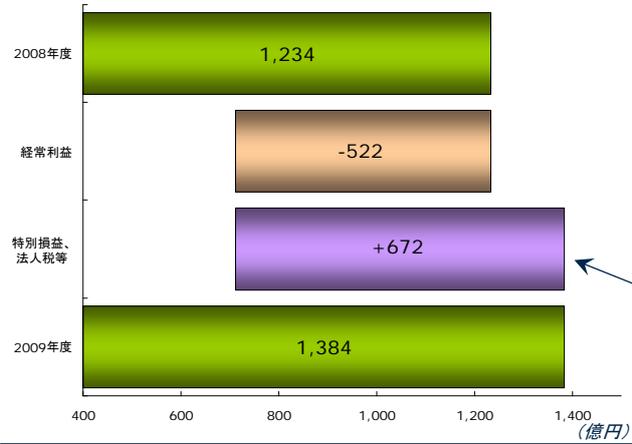
2009年度 実績

□ 経常利益



改善要因: 支払利息の減: 252億円
為替差損益の改善: 15億円
悪化要因: 受取利息の減: 56億円 等

□ 当期純利益

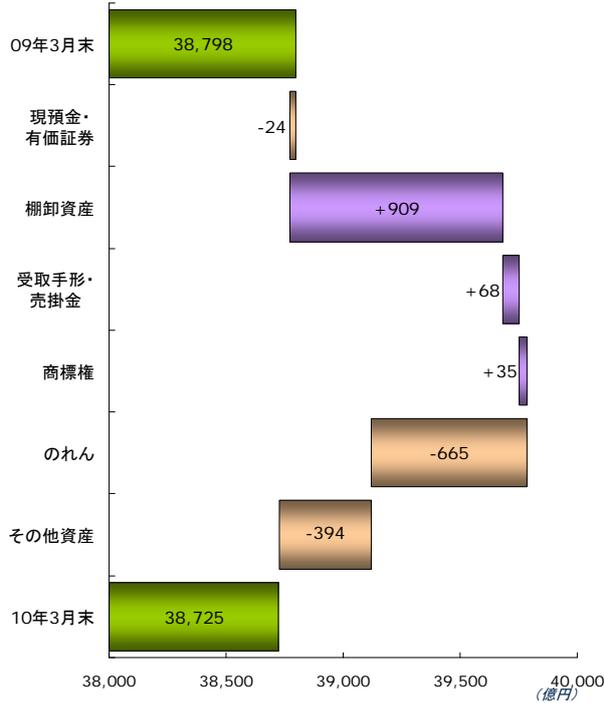


改善要因: 英国競争法制裁金関連負債取崩益の計上: 167億円
事業構造強化費用の減: 144億円
成人式別自販機導入費用の減: 134億円
減損損失の減: 103億円
悪化要因: PCB廃棄物処理費用の計上: 40億円
固定資産売却益の減: 141億円 等

(このスライドは空白です)

2009年度 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2009年3月末・2010年3月末比較



□ 流動資産: +1,001億円

【棚卸資産増加】+909億円

- 原材料及び貯蔵品増 +735億円
買付増加、在庫単価上昇
- 商品及び製品増 +280億円
海外たばこ事業の増

□ 固定資産△1,073億円

【のれんの減少】△665億円

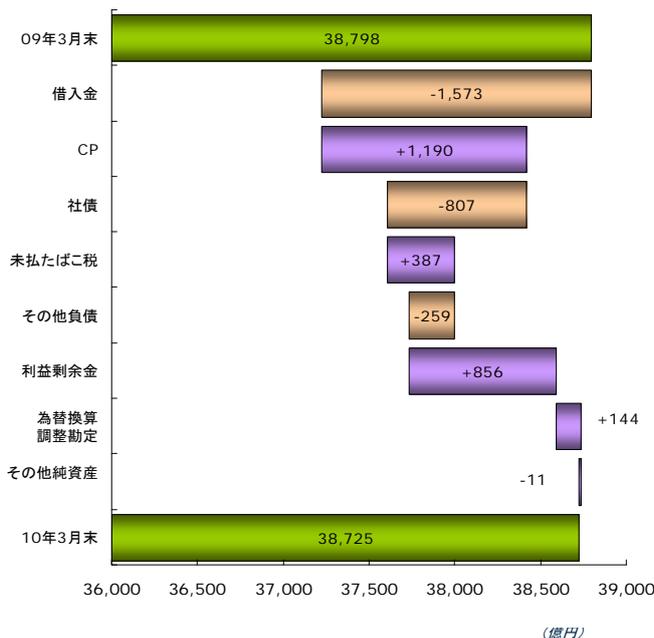
償却および円高影響 (JTIのれんはドル建て保有)

【繰延税金資産減少】△434億円

海外たばこ事業及び食品事業の子会社における取り崩し

2009年度 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2009年3月末・2010年3月末比較



□ 負債合計: △1,061億円

【借入金減】△1,573億円

返済

【CP増加】+1,190億円

【社債減少】△807億円

- 国内債償還△1,500億円 (RJRI買収時の円資金調達分)
- 旧GLH社債償還 約△400億円 (300百万ポンド)
- 国内債新規発行+1,000億円 (5月発行)

【未払たばこ税増】+387億円

- 海外たばこ事業 (UK等での増)

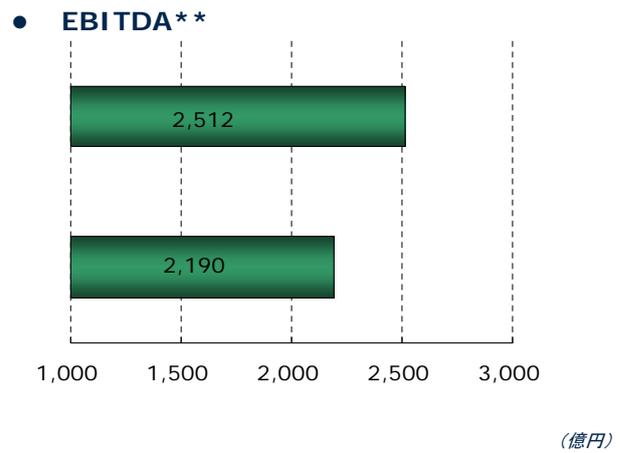
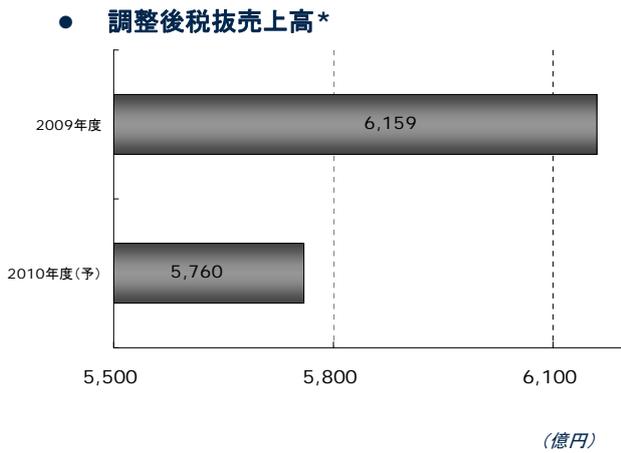
□ 純資産合計: +989億円

【利益剰余金の増加】+856億円

【為替換算調整勘定】+144億円

2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 調整後税売上高* / EBITDA**



【主な減少要因】

- JT販売数量の減:
1,518億本→1,275億本(△243億本)

【主な減少要因】

- JT販売数量の減(△243億本): 約740億円
- 葉たばこ評価差損益戻入終了: 41億円
- コスト増、販促・その他: 約130億円

【主な増加要因】

- 単価効果: 約590億円

*輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

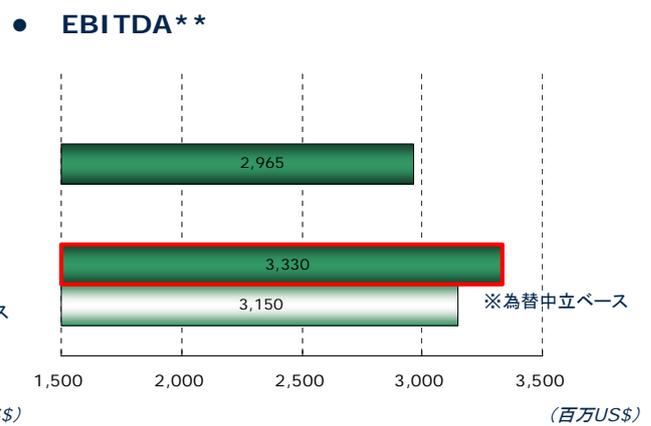
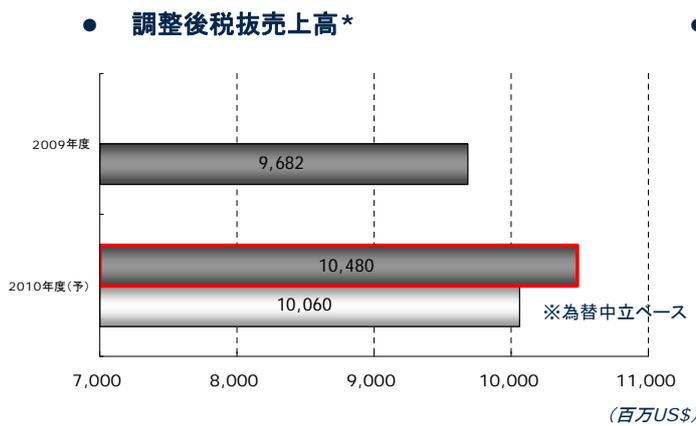
**JT1からのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

15



2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 調整後税売上高* (\$ベース) / EBITDA** (\$ベース)



【主な増加要因】

- 主要市場での価格効果が成長を牽引

(参考)

海外たばこ事業調整後税売上高* 9,067億円→9,440億円
(372億円増)
連結円ドルレート 93.65円 → 90.00円 (3.65円高)

【主な増加要因】

- 主要市場での価格効果が成長を牽引

(参考)

海外たばこ事業EBITDA** 2,776億円 → 3,000億円 (223億円増)
連結円ドルレート93.65円 → 90.00円 (3.65円高)

*物流事業、PB、製造受託、その他を控除

**JTへのロイヤリティ支払前

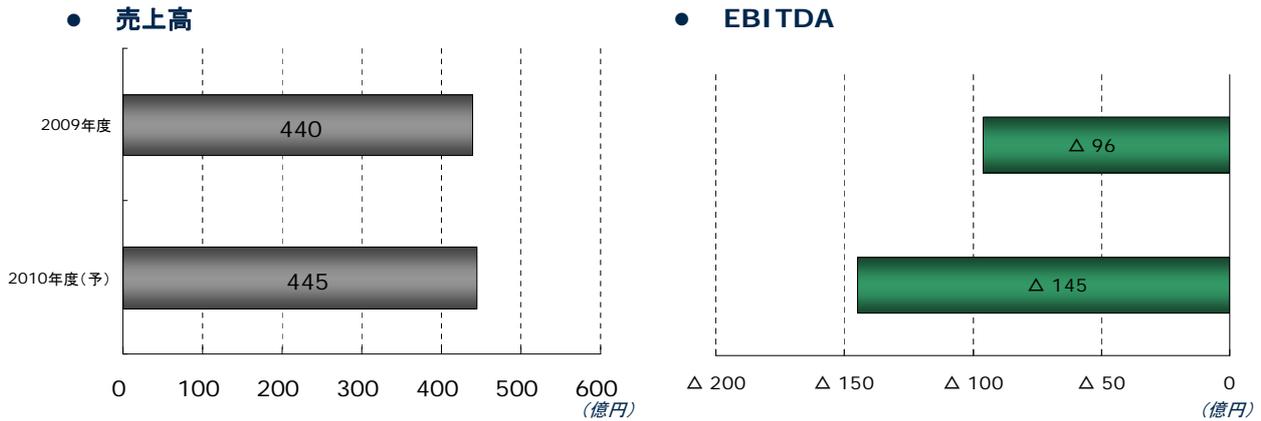
16



27

2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 医薬事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の売上高: 424億円→438億円(+13億円)

【主な減少要因】

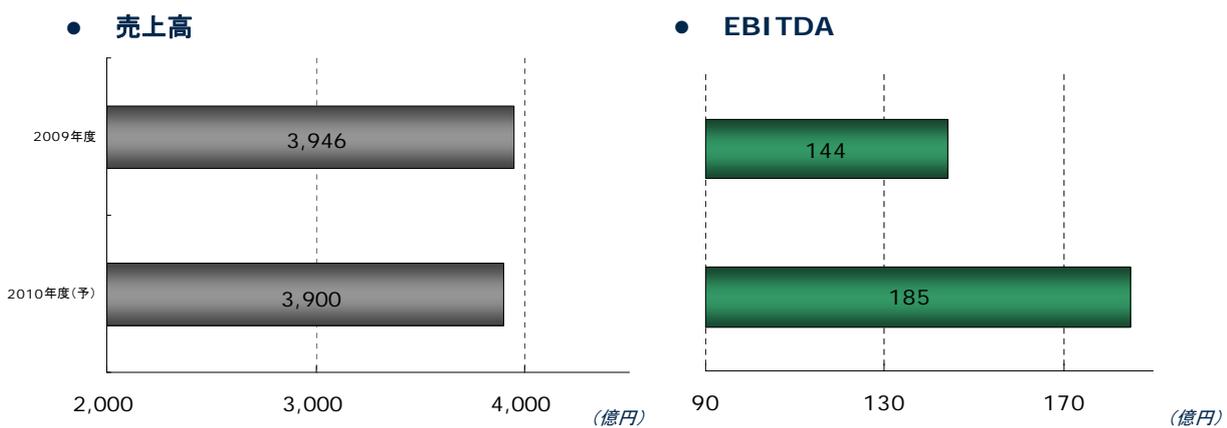
- ロイヤリティー・一時金収入の減少

【主な減少要因】

- 鳥居薬品の営業利益: 61億円→40億円(△21億円)
- 開発の進展に伴い鳥居薬品を含めた研究開発費増
- ロイヤリティー・一時金収入等の減少

2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 食品事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 注力事業分野の成長

【主な減少要因】

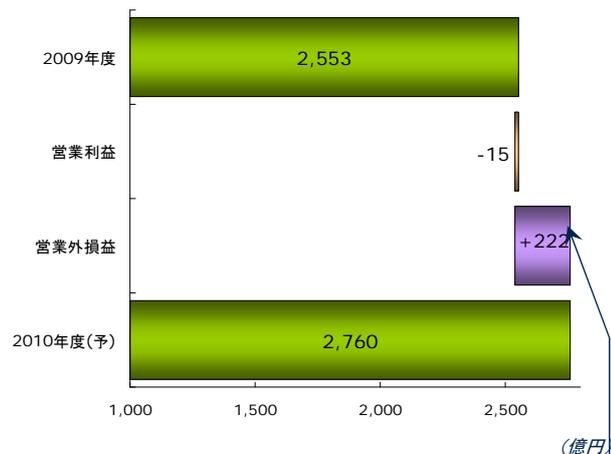
- テーブルマークグループにおける事業の選択と集中

【主な増加要因】

- 10周年を迎える基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
- ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中およびコスト削減

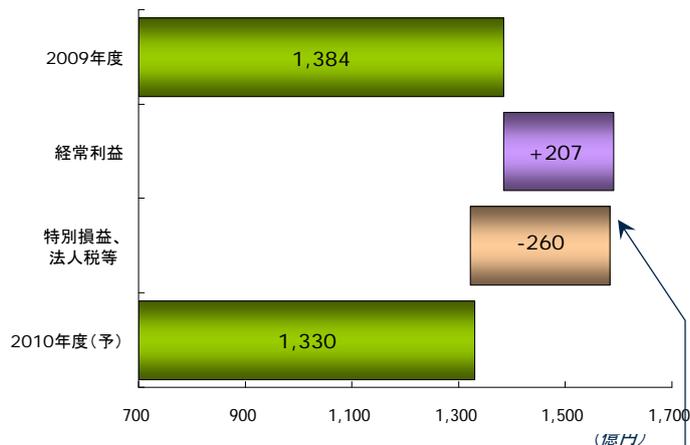
2010年度 業績予想_対前年度実績

□ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善 等

□ 当期純利益



改善要因: 事業構造強化費用の減
減損損失の減少

悪化要因: 前年の英国競争法制裁金関連負債取崩益計上:167億円
カナダ政府との和解費用支払:138億円
固定資産売却益の減 等

(このスライドは空白です)

2010年3月期 決算データ集(1)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	09年3月期	10年3月期	増減
税込売上高	68,323	61,346	△ 6,976
調整後税抜売上高 ^(注)	22,431	19,809	△ 2,621
EBITDA	6,462	5,267	△ 1,195
営業利益	3,638	2,965	△ 673
経常利益	3,075	2,553	△ 522
当期純利益	1,234	1,384	150

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他および海外たばこ事業における物流事業、PB、製造受託、その他を控除

(参考: のれんの償却影響を除く)

営業利益	4,693	3,939	△ 753
経常利益	4,130	3,528	△ 602
当期純利益	2,289	2,358	69

6.主要投資案件の諸償却費

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	08年12月期	09年12月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
のれん	910	903	20年

(注): のれん償却費は旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

(単位: 億円)

食品事業	09年3月期	10年3月期	償却年数	終了
テーブルマーク関連				
のれん ^(注)	96	104	5年	'12年12月

(注): 10年3月期の実績: テーブルマーク子会社ののれんの一括償却を含む

(単位: 百万ドル)

海外たばこ事業	08年12月期	09年12月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	273	242	主に20年

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

(単位: 億円)

国内たばこ事業	09年3月期	10年3月期	償却年数	終了
旧RJRI関連				
商標権	294	29	10年	'09年4月

7.資本的支出

(単位: 億円)

	09年3月期	10年3月期	増減
資本的支出	1,342	1,371	28
国内たばこ事業	465	458	△ 6
海外たばこ事業 ^(注)	597	645	47
医薬事業	34	29	△ 4
食品事業	232	234	2
その他事業	11	3	△ 7

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

8.手元流動性^(注)

(単位: 億円)

	09年3月末	10年3月末	増減
手元流動性	1,698	1,673	△ 24

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現金

9.有利子負債^(注)

(単位: 億円)

	09年3月末	10年3月末	増減
有利子負債	9,960	8,743	△ 1,217

(注): 有利子負債=短期借入金+CP+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連数値

【国内たばこ事業】	09年3月期	10年3月期	増減
JT販売数量 ^(注)	1,599	1,518	△ 80
国内総需要	2,458	2,338	△ 119
JT販売数量シェア	65.1%	64.9%	△ 0.2%pt
JT千本当税込売上高	12,698	12,692	△ 6
JT千本当税抜売上高	4,057	4,056	△ 1

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2009年3月期36億本、2010年3月期36億本。

【海外たばこ事業】	08年12月期	09年12月期	増減
販売数量 ^(注)	4,459	4,349	△ 110
GFB販売数量	2,455	2,434	△ 21
連結円ドルレート	103.48	93.65	△ 9.83

(注): Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Smus込み

【医薬事業】	09年3月期	10年3月期	増減
研究開発費(単体)	232	219	△ 13

【食品事業-飲料事業】	09年3月末	10年3月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	254,000	257,000	3,000
うちマーキング機	32,000	33,000	1,000
うちコンビ機	76,500	82,000	5,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」は当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」は関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

11.従業員数^(注)

(単位: 人)

	09年3月末	10年3月末	増減
従業員数(連結)	47,977	49,665	1,688
国内たばこ事業	11,281	11,282	1
海外たばこ事業	23,227	24,751	1,524
医薬事業	1,616	1,634	18
食品事業	10,975	11,143	168
その他事業	429	352	△ 77
全社共通業務	449	503	54
従業員数(単体)	8,908	8,961	53
在籍ベース従業員数(単体)	9,973	9,883	△ 90

(注): 従業員数は就業人員ベース

2.売上高の内訳

(単位: 億円)

	09年3月期	10年3月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	68,323	61,346	△ 6,976
国内たばこ事業	32,004	30,428	△ 1,576
海外たばこ事業 ^(注1)	31,183	26,336	△ 4,846
調整後全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	22,431	19,809	△ 2,621
国内たばこ事業 ^(注2)	6,488	6,159	△ 328
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	10,808	9,067	△ 1,740
医薬事業	567	440	△ 126
食品事業	4,359	3,946	△ 413
飲料事業	1,873	1,861	△ 12
加工食品事業等	2,486	2,085	△ 400
その他事業	207	195	△ 12

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国、その他を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除した実績

(参考)

(単位: 百万ドル)

海外たばこ事業	10,445	9,682	△ 762
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}			

3.業たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位: 億円)

	09年3月期	10年3月期	増減
業たばこ評価洗替差損益	△ 41	△ 41	-

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	09年3月期	10年3月期	増減
販売費及び一般管理費	9,141	8,155	△ 985
人件費 ^(注)	2,315	2,160	△ 154
広告宣伝費	256	219	△ 37
販売促進費	1,623	1,437	△ 186
研究開発費	472	496	23
減価償却費	1,130	725	△ 404
その他	3,341	3,115	△ 226

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位: 億円)

	09年3月期	10年3月期	増減
全社EBITDA	6,462	5,267	△ 1,195
営業利益	3,638	2,965	△ 673
減価償却費 ^(注2)	2,824	2,301	△ 522
国内たばこ事業EBITDA	2,722	2,576	△ 146
営業利益	1,882	2,033	150
減価償却費 ^(注2)	840	543	△ 297
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	3,379	2,498	△ 880
営業利益	1,747	1,091	△ 656
減価償却費 ^(注2)	1,631	1,407	△ 224
医薬事業EBITDA	48	△ 96	△ 145
営業利益	10	△ 135	△ 146
減価償却費 ^(注2)	38	39	0
食品事業EBITDA	170	144	△ 25
営業利益	△ 114	△ 136	△ 22
減価償却費 ^(注2)	284	281	△ 2
その他事業EBITDA	131	133	1
営業利益	96	105	8
減価償却費 ^(注2)	34	27	△ 6

(参考)

(単位: 百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	3,452	2,965	△ 487
-------------------------------	-------	-------	-------

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、無形前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

2010年3月期 決算データ集(2)

2011年3月期連結業績予想

(単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	増減
税込売上高	61,346	59,800	△ 1,546
EBITDA	5,267	5,130	△ 137
営業利益	2,965	2,950	△ 15
経常利益	2,553	2,760	206
当期純利益	1,384	1,330	△ 54
ROE(株主資本利益率)	8.6%	8.0%	△ 0.6%pt
フリーキャッシュフロー	2,507	1,350	△ 1,157
(参考:のれんの償却影響を除く)			
当期純利益	2,358	2,260	△ 98
EPS(円)	24,621.42	23,590.59	△ 1,030.83
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	△ 200
配当性向	23.6%	23.7%	0.1%

(単位:億円)

	10年3月期 実績 (新会計基準) ^(注4)	11年3月期 見込 (新会計基準) ^(注4)	増減
資本的支出	1,371	1,720	348
国内たばこ事業	426	620	193
海外たばこ事業	645	680	34
医薬事業	26	25	△ 1
食品事業	234	350	115
その他事業/全社・消去	38	45	6

(参考) (単位:百万ドル)

海外たばこ事業	9,682	10,480	798
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}			
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)	2,965	3,330	365

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

事業セグメント別業績予想^(注4)

(単位:億円)

	10年3月期実績 (旧会計基準)	10年3月期実績 (新会計基準)	11年3月期見込 (新会計基準)	11年3月期 対前年増減 (新会計基準)
税込売上高 ^(注1)	61,346	61,346	59,800	△ 1,546
国内たばこ事業	30,428	30,428	28,320	△ 2,108
海外たばこ事業 ^(注1)	26,336	26,336	26,990	653
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	19,809	19,809	19,730	△ 79
国内たばこ事業 ^(注2)	6,159	6,159	5,760	△ 399
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	9,067	9,067	9,440	372
医薬事業	440	440	445	5
食品事業	3,946	3,946	3,900	△ 46
その他事業/全社・消去	195	195	185	△ 10
EBITDA ^(注5)	5,267	5,267	5,130	△ 137
国内たばこ事業	2,576	2,512	2,190	△ 322
海外たばこ事業	2,498	2,776	3,000	223
医薬事業	△ 96	△ 96	△ 145	△ 48
食品事業	144	144	185	40
その他事業/全社・消去	143	△ 70	△ 100	△ 29
営業利益	2,965	2,965	2,950	△ 15
国内たばこ事業	2,033	1,987	1,720	△ 267
海外たばこ事業	1,091	1,369	1,660	290
医薬事業	△ 135	△ 135	△ 185	△ 50
食品事業	△ 136	△ 136	△ 90	46
その他事業/全社・消去	113	△ 118	△ 155	△ 36
減価償却費 ^(注6)	2,301	2,301	2,180	△ 121
国内たばこ事業	543	525	470	△ 55
海外たばこ事業	1,407	1,407	1,340	△ 67
医薬事業	39	39	40	0
食品事業	281	281	275	△ 6
その他事業/全社・消去	30	48	55	6

(注4):セグメント情報等の開示に関する会計基準の変更にもない、事業セグメント別指標の定義を変更。

国内たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティー受取前、

海外たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティー支払前の利益を表示。

また共通経費(減価償却費を含む)・資本的支出の各事業部門への配賦方法を変更。

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費^(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

(単位:億本)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	増減
販売数量	1,518	1,275	△ 243

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	増減
販売数量※	4,349	4,330	△ 19
GFB販売数量	2,434	2,500	66
円/USドルレート	93.65	90.00	△ 3.65
RUB/USドルレート	31.77	29.50	△ 2.27
GBP/USドルレート	0.65	0.65	0.00
EUR/USドルレート	0.73	0.68	△ 0.05

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	904	915	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

:のれん償却費は旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

食品事業 (単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	104	91	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期はテーブルマーク(旧加ト吉)子会社の一括償却を含む

主要投資案件の商標権償却費

国内たばこ事業 (単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
旧RJRI関連	29	-	10年

(注):'09年4月に償却終了

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	10年3月期 実績	11年3月期 見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	242	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395	388	343	1,518

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689	12,691	12,696	12,692

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9

伸張セグメントシェア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1

②1mg市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	22.4	22.3	22.5	23.0	22.5
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	61.9
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

①JT メンソール製品市場シェア

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0

②メンソール市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	20.7	21.4	21.2	21.8	21.3
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.6
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1

②320円以上市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.7	23.7	24.1	24.0	23.9
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	22.5
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21

* ビアニッソモ及びプレミアは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2010年4月28日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase2	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（島居薬品と共同開発）
JTK-853 (経口)	海外：Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	

前回（2010年2月9日）公表時からの変更点：なし

【付記事項】

英国グラクソ・スミスクライン社は、2006年4月18日に当社が同社へ全世界での開発・商業化権を導出したMEK阻害剤が、Phase1からPhase2へ移行したことを2010年3月に公表